

令和8年度

「運営に関する計画」



小中一貫須賀の森学園
大阪市立西淡路小学校

令和8年4月

I 学校運営の中期目標

現状と課題

外国につながるの児童、特別支援学級在籍児童、さまざまに支援を要する児童が増えてきており、ますます多様な学年・学級集団となっている。それらのちがいを豊かさとしてとらえられるよう、ちがいを認め合い、自分と周りの人を大切にする態度を養っていくことがこれまで以上に重要となってきている。これまでもよりよい学級・学年集団の育成に取り組んできたものの、令和7年度において、不登校傾向の児童（不登校児童在籍比率3.1%）、学力に課題のみられる児童（小学校学力経年調査4区分児童割合3～6学年平均 国語16.5%、算数26.4%）が一定数いる。

不登校児童については、令和8年度、SSWやSSR支援員が配置となり、より充実した対応ができる環境となった。今後も人権教育主担者、学年団の教員が中心となって、不登校児童と学級のつながりを大切にした対応を推進していくこととする。

学力については、課題の見られる児童を中心に、まずは算数科の基礎・基本である計算力を確実に身につけることから始め、中期的には自立した学びに向かう児童の姿を見据えて、課題改善において粘り強く取り組んでいきたいと考えている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。（令和7年度73.8%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

校内調査における「粘り強く問題に取り組むことができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（新規項目）

【学びを支える教育環境の充実】

小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。（新規項目）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(令和7年度3.1%)
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(新規項目)
- 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(新規項目)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。(令和7年度③④区分の児童割合 3年③21.0%④33.9%、4年③16.3%④14.3%、5年③32.2%④32.2%、6年③36.5%④25.0%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を88%以上にする。(令和7年度86.0%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(新規項目)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務を月23時間以内とする。(令和7年度23時間11分)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

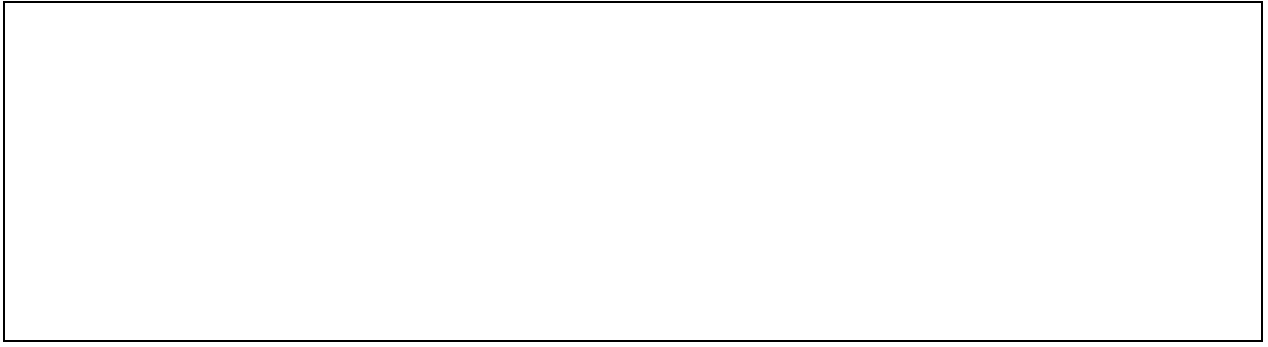
大阪市立西淡路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標Ⅰ 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。（令和7年度3.1%） ○ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（新規項目） ○ 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。（新規項目） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【いじめ・不登校への対応 Ⅰ-1、Ⅰ-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめについて考える日」や「いじめアンケート」の実施によるいじめの未然防止、早期発見・解消の取組を徹底する。 ○ いじめ・不登校防止委員会（人権推進部）を実施し、児童の生活の様子、いじめや暴力行為等について情報を共有し、改善に向けて方向性を明確にする。 ○ 家庭や地域と連携を図り、登校を促す支援を行う。 ○ 登校しやすい学校環境を整え、児童の支援体制を充実させる。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内のいじめアンケートを学期に1回実施し、認知したいじめについて話を聞き、解消した割合を100%にする。 ・月に1回いじめ・不登校防止委員会（人権推進部）を実施する。 ・校内調査において、新たに不登校になる児童を増やさないう家庭との連携に努める。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。（令和7年度3.1%） 	
<p>取組内容②【安全教育の推進 Ⅰ-6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災・減災教育や防犯・交通安全教育などを通じた安全を守るために行動できる力の育成を目指す。 	

<p>○ 自ら危険を回避するために主体的に行動する態度を育成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・減災・防犯・交通安全等の年間計画を見直し、避難訓練(引き渡し訓練も含む)を年5回以上実施する。 ・ 避難訓練後には保護者へメール等で啓発を行う。 ・ 学校生活アンケートを2回実施し、「安全な避難方法について考えることができましたか」の項目で、前期、後期ともに肯定的な回答を90%以上にする。 	
<p>取組内容③【人権を尊重する教育の推進 2-3】</p> <p>○ 各学年の教科等に合わせて人権学習を計画し、授業や体験的な活動を通して、一人一人が違いを認め合い自信をもって学校生活を送れるようにする。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・ 小学校学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができているか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	



大阪市立西淡路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。（令和7年度③④区分の児童割合 3年③21.0%④33.9%、4年③16.3%④14.3%、5年③32.2%④32.2%、6年③36.5%④25.0%） ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を88%以上にする。（令和7年度86.0%） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【言語活動・理数教育の充実 4-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 算数科・数と計算領域の研究授業を各学年1本行い研究を深める。 ○ 言語活動・語彙を増やす取り組みを充実させる。 ○ 各家庭に家庭で学習するのに適している内容を提示する。また、家庭学習の大切さを啓発する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週に2回の朝学習で、前々学年・前学年にさかのぼっての基礎的基本的な学習に取り組み、基礎学力の定着を図る。 ・ 週1回の学びの日や懇談・家庭訪問期間に第4区分の児童に対して、個に応じた指導・支援を行う。 ・ 月に1回学級文庫を20冊更新し、読書活動の推進をはかる。また、3～6年生の学級には国語辞典を児童数、低学年のクラスにも国語辞典を2冊配置し、多くの語彙に触れる環境をつくっていく。 ・ 家庭訪問時に家庭教育に関する啓発の手紙を保護者に配布し声掛けを行う。また、学期に1度ファミリースタディーウィークを設定し、保護者が児童の学習の様子を把握できるようにする。 	
<p>取組内容②【体力・運動能力向上のための取組の推進 5-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ かけ足週間やなわとび週間を設けて、体力・運動能力の向上を図る。 ○ 運動に親しめる環境の整備を充実させる。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年度末の校内調査における「運動するのは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・ 運動委員会の活動などを通して、児童に遊具を含む運動用具の活用方法を提示するなどして運動に親しめる環境づくりを推進していく。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立西淡路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。（新規項目） ○ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務を月23時間以内とする。（令和7年度23時間11分） 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【ICTを活用した教育の推進 6-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会情勢の変化に対応した児童生徒のデジタルリテラシーの育成およびデジタル学習基盤の活用を前提とした効果的な学習方法の推進を行う。 ○ 児童の心の状態や日々の状況を可視化し、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度立てた情報活用能力到達目標に沿って情報教育を実践したうえで、年2回のICT交流会を開催する。 ・ 児童が入力した「心の天気」を活用し児童の悩み等にいち早く気づき、支援できるようにする。 	
<p>取組内容②【働き方改革の推進 7-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童と関わる時間を増やすために、SSW(スクールソーシャルワーカー)とSSR(スペシャルサポートルーム)支援員やSSS(スクールサポートスタッフ)と連携し、役割分担・業務依頼をする。 ○ すべての子どもたちへのより良い教育を実現することを目指し、教職員の校務分掌や会議の在り方、慣習化している行事等を見直し、合理化を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の働き方改革として、年間の授業時数を見直し、必要に応じて授業時数の削減をおこなう。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立西淡路小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--